

令和8年度府中市立府中第十小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①児童が自分で見通しをもち、自分のペースで学習するスタイルの継続
- ②学習内容の定着（特に算数）
- ③デジタル教科書やドリルパークを活用した学習の日常化（主体的に取り組むツールとしての活用）

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①社会科を中心とした単元内自由進度学習の継続（国語、算数での発展的取組）
- ②算数少人数指導における「順番」と「時間」に着目した授業改善
- ③実感を伴った理解を促す体験学習の充実
- ④オクリンク等の活用や、児童がファシリテートする討論による学び合いへの挑戦

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- めあてや見通しをもって自分で学習課題を解決する。学習の振り返りをし、次の学びに生かす。【発見・決定】
- 友達との交流で、自分の考えを広げたり、深めたりする。高学年は児童がファシリテートする。【対話・表現】
- 間違えた問題や、時間が経って忘れてしまった問題の復習を繰り返す。

(2) 目指す授業像

- 問題解決的な学習の充実【発見・対話・決定・表現】
 - ・①教員が説明や一問一答の発問をする場面
 - ②児童が問題を解決する場面
 - ③習熟を図る場面を意識して授業を行う。
- ・上記のうち、②③の時間を確保する。
- 全員に1単位時間の評価規準を達成させるために、児童の状況を把握し、適切な指導や支援を行う。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	○「読むこと」に重点を置く。【発見・決定・表現】 ○問題解決的な学習にも取り組み、児童の発達段階に応じた単元内自由進度学習を行う。	音楽	○歌唱や演奏の楽しさを味わわせる。【発見】 ○発達段階に応じて、アプリ等を活用した演奏や作曲などに取り組ませる。【発見・表現】
社会	○単元内自由進度学習を基本とし、②の時間を確保する。②の中で、友達との交流の機会を設ける。 ・体験と結び付けた理解を促す。【発見・決定・表現】	図画工作	○作品づくりの楽しさを味わわせる。【発見】 ○発達段階に応じて、アプリ等を活用した製作や鑑賞に取り組ませる。【発見・表現】
算数	○基礎的な事項の習熟のために、③の時間を確保する。【発見・決定】 ○中位・下位層については、内容によって集団解決や復習、習熟などの構成を工夫する。	家庭	○展覧会に向けて作品づくりを楽しませる。 ○日常生活に生かせるようにする。【発見】 ・衣服の調整や家庭の手伝い、消費者教育などは家庭での実践と結び付けさせる。【発見】
理科	○問題解決的な学習を基本とし、②の時間を確保する。【発見・決定・表現】 ・実験を行う学習では、予想（仮説）や結果、考察を学級やグループで共有する。	体育	○運動の楽しさを味わわせ、運動の日常化へとつなげる。【発見・決定・表現】 ・タブレットを活用して、自分の体の動きを知る機会を設ける。
生活	○児童がめあてを理解し、活動を楽しめるようにする。②の時間を確保する。【発見・決定・表現】 ○活動を通した気づきを発信させる。【表現】	外国語	○「聞くこと」「話すこと」に重点を置く。 ・学習者用デジタル教科書も活用する。【表現】

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- 【低学年】国語の音読や生活科の観察や交流などを画像や音声データを活用して振り返りに生かす。
- 【中学年】オクリンクなどで調べたことや考えたことを交流する。
- 【高学年】自分の考えをスライドにまとめて、他者と交流したり、発表したりする。